

2-キングに 斜線のバグ? 細わすま?

鴉の贄 鴉の帰りを待つ如く

鴉の贄 死後を明るく枝の先

青空に死臭抜けたる鴉の贄

鴉の贄 乾びて死臭なかるべし

鴉の贄 修行の僧の如く痩せ

新しき有刺鉄線鴉の贄

日に一度夕日を浴びて鴉の贄

げつそりと秋日に痩せて鴉の贄

鴉の贄 夕日に浮び上りけり

青空に瞑目つづく鴉の贄

青空にまた新しき鴉の贄

青空を呪ふが如く鴉の贄

モカウモカモカもあう 10.14 15:3

枝の先に月の出を待つ鴉の贄

月よりの使者に捧げし鴉の贄

鴉の贄 月の光に孤独なり

鴉の贄 月の光に冷ゆるかな

地に影の届かぬ高さ鴉の贄

雨風に縮み縮みて鴉の贄

鴉の贄 土に還るを許されず

枝よりも色濃くなりぬ鴉の贄

友もなく月を見てゐる鴉の贄

鴉の贄 頭がもげてしまひさう

黒髪を垂らせし如く鴉の贄

鴉の贄 皮一枚で繋つて

枝その目のまなまの執心 15.7

こ国し 10.14 8:43 am

皮付のままに干されて鴉の贄

目口鼻胴体手足鴉の贄

吹き降りに口を開けたる鴉の贄

万歳の小さき両手や鴉の贄

ふつくらと腹を刺されし鴉の贄

腹を見せ手も足も見せ鴉の贄

長き尾を垂るる哀れや鴉の贄

長き尾の曲つてゐたる鴉の贄

枝に刺さる長き蛙や鴉の贄

伸び伸びと長き蛙や鴉の贄

跳ぶ如く長き蛙や鴉の贄

鴉の贄 長き尻尾を垂れにけり

手足もあやて 10.14 15:8

直立の長き蜥蜴や鴟の贄

これ見よとばかりに長き鴟の贄

垂れ下る長き蛙や鴟の贄

枝の先に魚滴るや鴟の贄

水を出し魚の驚き鴟の贄

見晴らしの良きに刺されて鴟の贄

見世物の如くに揺るる鴟の贄

鴟の贄ここは魚の刺されある

鴟の贄長き蛙の吊られたる

枯れ果てて枝より細し鴟の贄

鴝の贄 鴝の帰りを待つ如く

△友もなく月を見てゐる鴝の贄

万歳の小さき両手や鴝の贄

日に一度夕日を浴びて鴝の贄

鴝の贄 月の光に孤独なり

ふつくらと腹を刺されし鴝の贄

鴝の贄 夕日に浮び上りけり

鴝の贄 月の光に冷ゆるかな

腹を見せ手も足も見せ鴝の贄

鴝の贄 死後を明るく枝の先

△雨風に縮み縮みて鴝の贄

長き尾を垂るる哀れや鴝の贄

青空に死臭抜けたる鴝の贄

地に影の届かぬ高さ鴝の贄

鴝の贄 長き尻尾を垂れにけり

鴝の贄 乾びて死臭なかるべし

鴝の贄 土に還るを許されず

直立の長き蜥蜴や鴝の贄

鴝の贄 修行の僧の如く痩せ

贄いくつ忘れし鴝の高音かな

これ見よとばかりに長き鴝の贄

新しき有刺鉄線鴝の贄

鴝の贄 頭がもげてしまひさう

見晴らしの良きに刺されて鴝の贄

げつそりと秋日に痩せて鴝の贄

鴝の贄 皮一枚で繋つて

枝の先に魚滴るや鴝の贄

青空にまた新しき鴝の贄

皮付のままに干されて鴝の贄

水を出し魚の驚き鴝の贄

青空を呪ふが如く鴝の贄

目口鼻胴体手足鴝の贄

鴝の贄 ここは魚の刺されある

枝の先に月の出を待つ鴝の贄

青空に瞑目つづく鴝の贄

鴝の贄 長き蛙の吊られたる

可成り
（著者）

of
fish
刺され

2023・10・20【全然堂歳時記 秋】

【鴟の贅】

選42句
組14ホ

BIZ 明朝 太 2023年10月20日 21:57 <2 > 桐10

枝に刺さる長き蛙や鴟の贅

伸び伸びと長き蛙や鴟の贅

垂れ下る長き蛙や鴟の贅

跳ぶ如く長き蛙や鴟の贅

枯れ果てて枝より細し鴟の贅

枝よりも色濃くなりぬ鴟の贅

21
47
am